

## アーカイブの実践報告 ②女性アーカイブの構築

### 資料保存への熱い思いをカタチにする呉 YWCA の取り組み

呉YWCA総幹事 平城智恵子

#### 1、初めに

「アーカイブへのアクセス」(日米アーカイブセミナー2007 の記録) 日外アソシエーツ 発行

小川千代子・小出いずみ編 275 頁より

「第九章 歴史をつむぎ、歴史をつくるアーカイブ

だれのため、何のためのアーカイブか—残すということ 小川 千代子

かつて、1980 年代中期に、米国・テキサス州の大学アーカイブを訪問調査に訪れたことがある。当時、ここでも大学アーカイブは整備途上であった。資料整備担当者であるアーキビストは「何が何でも、保存することです。保存がなければ、その先の利用も研究もありえません。資料の存在がすべてです。保存されていれば、資料はいつか利用される可能性があります。資料を廃棄してしまったら、その段階ですべては終わります。」と、熱く語りかけてくれた。案内された「大学アーカイブ」とは、数段の書架に整理中の紙資料がおかれている「ワークスペース」であった。「資料の存在がすべて」と熱く語るアーキビストの分厚いレンズの奥から注がれるまなざしは、その資料たちが包含する未来へのメッセージへの愛情でいっぱいだった。この愛情が「残す」ということを可能にしている、これが、アーカイブの根源だ、と直感した。

#### 2、呉 YWCA との出会い

##### 建物との出会い

戦前に建てられた木造の二階建て。印象的な階段。家具類・調度品。

⇒時が止まった場所

##### 資料との出会い

写真約 10,000 枚、アルバム約 200 冊・帳簿類約 120 冊・会議記録約 120 冊

##### 活動との出会い

日本 YWCA 主題 「平和を実現する人々は幸いである—マタイによる福音書 5 章 9 節—」

2013 年度呉 YWCA 活動目標 ①環境と原発の問題に取り組む。

②地域の女性と子どもに貢献するプログラムを企画、実施する。

##### 地域との出会い

呉市制 111 周年 軍港都市としての発展 ⇔ 広島・呉・岩国 軍事三角地帯の中で、

平和を希求する女性団体としての葛藤

「活動があったから歴史がつむがれた。歴史があったから活動が続いている。」



#### 3、課題

マンパワーの不足⇒資料の山が高くなる

専門知識の不足⇒ 閲覧するたびに破損してゆく資料

整理の方法が分からない



#### 4、今後の取り組み

- ①資料保存ボランティアの募集 2013年12月より
- ②資料保存ボランティア養成講座 2014年度より(予定)
- ③創立時メンバーからの聞き取りと保存 2013年8月より  
創立65周年記念小冊子「wonderful woman」作成作業の発展として
- ④呉YWCAの建物保存の取り組み 2013年11月より  
海軍建築の技術の粋を集めた建物(煉瓦積み、木造)  
→見学説明会開催  
文化庁へ登録有形文化財として申請するための作業プロジェクト発足  
・実測調査図面完成し、呉市教育委員会に打診済み



#### 資料保存に関する取り組みスケジュール

取組み	2013年		2014年			
	11月	12月	1月	2月	3月	4月
①資料保存ボランティア募集						
②資料保存サポーター養成講座						
③創立時メンバーからの聞き取りと保存						
④呉YWCA建物保存プロジェクト						
⑤建物見学会						

#### 5、目 標

- ①呉YWCAの存在に気づく人を増やそう
- ②まちの宝にしたいと思う人を増やそう
- ③子どもたちに歴史を伝えよう
- ④アーカイブと建物を一般公開しよう
- ⑤課題を共有する団体と連携・交流しよう

#### 参考文献

- 小川千代子・小出いずみ編 2008年 アーカイブへのアクセス—日本の経験・アメリカの経験  
日外アソシエーツ
- 国立女性教育会館編 2008年 研究ジャーナル第12号「女性アーカイブズ」
- 日本YWCA100年史編纂委員会編 2006年 日本YWCA100年史: 女性の自立をもとめて  
日本YWCA